



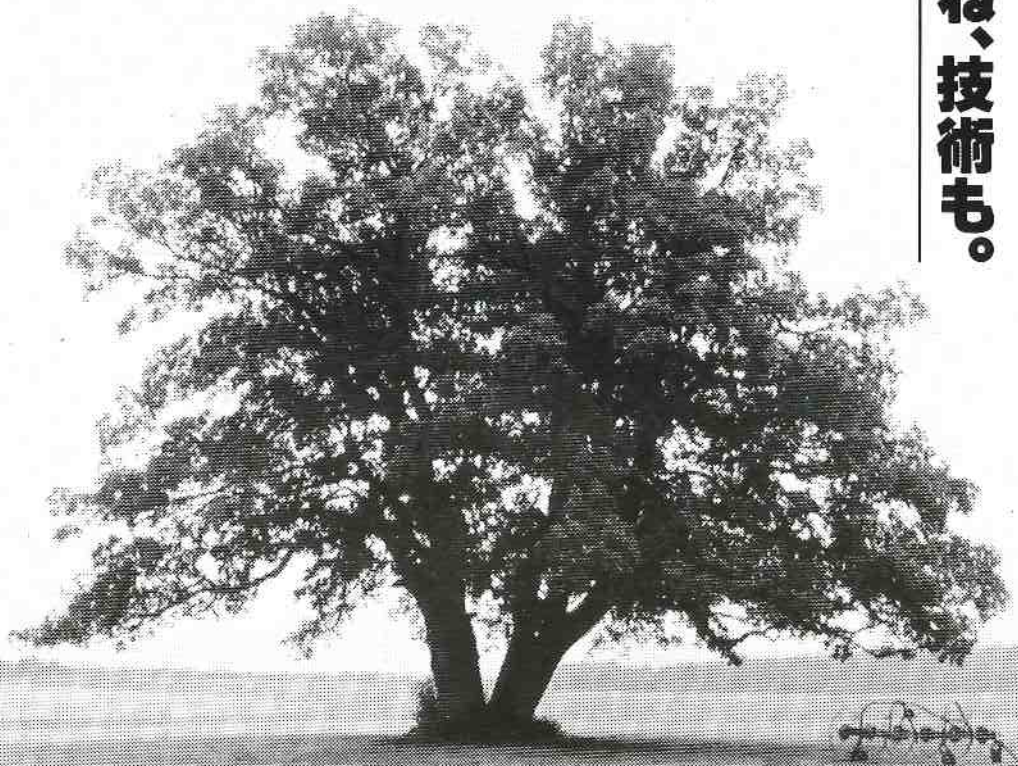
技術にこころをこめて75年



HITACHI

シンプルがいいね、技術も。

近年、「技術」はますます高度で複雑になってきました。専門知識を持った人や経験を積んだ人でなくては扱えないような機械もふえています。でも本来機械は、誰もが気軽に使えるものであるべきでしょう。これからの技術には単純明快なわかりやすさが必要なのです。いま日立はインターフェイスという言葉のもとに、人間と技術とのよりよい関係、誰もがかんたんに使いこなせる技術の実現をめざして研究・開発をすすめています。



技術との自由な対話
Interface

株式会社 日立製作所

宣伝部 〒101 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 TEL東京(03)258-1111(大代)

(財)日本ハンドボール協会 昭和62・63年度役員

(財)日本ハンドボール協会の昭和62・63年度の新役員が
以下のように選任されましたのでお知らせいたします。

会 長	齋藤英四郎
副 会 長	荒川 清美
〃	渡辺 和美
〃	盛田 正明
専務理事	安藤 純光
理 事	大野 金一 (国際担当)
〃	高田日呂美 (総務担当)
〃	滝口 三郎 (財務担当)
〃	川上 整司 (企画・広報担当)
〃	伊藤 和夫 (普及・指導担当)
〃	北川 勇喜 (強化担当)
〃	阿部徳之助 (技術担当)
〃	大塚 文雄 (審判担当)
〃	西村 亮治 (日本リーグ担当)
〃	清水 正 (東ブロック)
〃	望月 三郎 (中ブロック)
〃	藤田 八郎 (西ブロック)
〃	山田 稔 (社会人)
〃	中沢 重夫 (学連)
〃	佐野 和夫 (高体連)
参 事	中村 崇 (北海道)
〃	森 恭一 (東北)
〃	竹野 秀輝 (北信越)
〃	中根 武彦 (東海)
〃	槇 敏夫 (中国)
〃	河本 武夫 (四国)
〃	柳井 文治 (教職員連)
〃	富永 劭 (自衛隊連)
監 事	松本 重夫
〃	都野 雄治

MIZUNO

THE WORLD OF SPORTS



パワー効率重視。コートのマシン〈ランバード〉

室内コート専用のマルチファンクションソール。

前後左右、あらゆる方向へのトラクション性にすぐれたヘリホーン意匠をベースに、かかとには着地時の衝撃を吸収、分散するコンケープ意匠を配置。また、ソール前半にはパワーロスを防ぐサイドモーションサポートトリブ、回転運動の軸となるピボットリングをはじめ、屈曲性を高めるフレキシブルゾーンなどをレイアウト。多様なプレーに対応するソールパターンが生まれました。

〈ランバード〉ハンドボールシューズ

《ウイングショット》 ¥12,000

- 甲/牛革 ●補強材/人工皮革 ●底/ラバー・ハーフシェルソール
- カラー/16KH-1527 ホワイト・レッドにメタリックネイビーライン
/16KH-1562 ホワイトにレッドライン

RunBird

for The Sports-minded Cosmopolitan

第10回全国高校選抜大会

選手宣誓をする
岡崎城西・野田主将



記念大会で 男女60チームが参加

第10回全国高校選抜大会は、3月24日から28日まで愛知県体育館、露橋スポーツセンターで開催された。今大会は記念大会ということで、男女とも各30校が参加して行なわれ、栄冠めざして激しい闘いが展開された。

男子は、昨年の優勝校で、この大会に過去3回の優勝を飾っている久留米工大附属高が強さを見せ、1回戦から豊富な得点力から安定した戦いを見せ、2年連続4回目の優勝を飾った。

準優勝を飾ったのは、一昨年の優勝校・横浜商工で、地元の岡崎城西、名門・明星などを降して決勝に進出、2年ぶりの栄冠をめざしたが、後半に力尽きてしまい惜しくも準優勝にとどまった。ほかに沖縄・興南高の戦いぶりが目を引いたが、九州同士の対決となった準決勝で久留米工大附属の前に惜敗した。

女子は、今大会大混戦となり、その接戦を勝ち抜いた昭和学院(千葉)と本庄(宮崎)が決勝で対決した。どちらが勝っても初優勝という新鮮な対戦である。昭和学院は、3回戦で熊本女商に、また準決勝で川口青陵に延長戦で勝つという苦しい戦いを勝ち抜いて来た勢いで、決勝戦も制し、見事に初優勝を飾った。本庄も初出場ながら僅差の試合を勝ち抜き見事決勝進出は立派だった。

また、今大会で目立ったのは関東勢の活躍で、優勝の昭和学院はもちろん、佼成学園女(東京)、川口青陵(埼玉)と、実にベスト4の中に3校を関東勢が占めた。

滋養強壯剤

薬用人参・牛黄・大蒜製剤

キョーレオピン®

レオピン® ファイブ

効能・効果

○滋養強壯 ○虚弱体質 ○肉体的疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性消耗性疾患・妊娠・産後・授乳期などの場合の栄養補給



湧永製薬株式会社

〒553 大阪市福島区福島3丁目1番39号
〒101 東京都千代田区三崎町1丁目3番12号

☎06(458)8901(代)
☎03(293)3351(代)

男子

久留米工大附が二連覇

1回戦

桜台 31 (1318-13) 20 新居浜工

〔愛知〕

〔戦評〕桜台のスローオフでゲームが始まった。新居浜工は、桜台の堅いディフェンスに攻め手がなく、ミスが続いた。一方桜台は、このミスからの速攻、カットイン、サイドなどで着実に得点をあげ、点差を広げて前半を終了した。後半に入り、新居浜工は神野、日野のロングシュートなどで得点を重ねたが、総合的に勝る桜台が勝利を飾った。(浅井惣)

得0120430115040
〔新潟〕本村野井方 川井木名野川

GK F P (審・杉本) PT (1) 20

〔佐野〕田田谷田本合野上本村
〔桜〕岩阪山内板鎌榎落草山鳥鈴
得0051004400071 31 (3)

三 島 27 (1314-5) 14 浦和実
〔大阪〕

〔戦評〕浦和実のスローオフで開始。前半立ち上がり、三島はロング、ポストの展開で得点を重ねる。

一方浦和実は、カットインで攻撃するが、なかなか得点することができず、5-14と三島のリードで前半終了。

後半に入り、浦和実はセンターからカットン、さらにポストへの展開で追い上げる。しかし、三島は高さ、スピードに乗ったプレーで浦和実を引き離し、27-14で試合終了。(菅原弘勝)

得0062030120000
〔和〕智見記沢田口野部野野田田

GK F P (審・細山) PT (4) 14

〔越〕浅和池幸谷今矢阿高羽信
〔福〕山山白有伊勢小鳥柳戎浅山
得0053225390000 27 (1)

〔島〕島脇田井田坊坂平瀬脇野本
〔三〕福山山白有伊勢小鳥柳戎浅山
得0053225390000 27 (1)

〔興〕南 28 (1414-15) 22 氷見
〔沖〕縄

〔戦評〕立ち上がり5分まで両チームとも粘りのある守りを見せて1-1と互角であったが、その後興南が嶺井の速攻を足がかりに着実に得点を積み重ね、14-7で前半を終了。

後半、氷見は森谷を中心とした長短打のコンビプレーで再三興南ゴールを攻めるが、GK我謝の好

守に阻まれ、追いつくことができなかった。

両チームともに四つずつの退場を出し、お互いに攻守のペースを保てず、結局前半7点をリードした興南が、名門、氷見を破り1回戦を突破した。(王腰憲樹)

得0020690140000
〔水〕飯元田井上谷瀬中井谷山里
〔飯〕飯元田井上谷瀬中井谷山里
得0020690140000 22 (0)

GK F P (審・島田) PT (0) 22

〔南〕謝 城城次堅浜原井吉嘉
〔興〕我 宮金渡具吉上嶺又比
得0120013221126 28 (2)

〔函〕館有斗 20 (8-11) 18 那賀
〔北〕海道

〔戦評〕開始1分30秒、那賀・土井が先手をとった。その後もPT、速攻で着実に加点、函館有斗の厚い守りをエース宮城の巧みなフェイントを中心に果敢に攻撃。一方、なかなか歯車のかみ合わなかった有斗も、前半残りの6分、GKのはじいたボールを高橋が確実に決めてから寺嶋のロング、伊藤、建部らの速攻で4点を連取、波に乗って前半を終了した。

後半に入っても、右へ左へ揺さぶる攻撃で那賀の好守、井上の死角を突く。堅い守りに阻まれて中央からの攻め手のない那賀は、5分後同点に追いつかれる。その後一進一退、互いに譲らず、白熱した展開となったが、あせった那賀のミスから有斗、伊藤が速攻で、フリースローからの高橋のシュートで試合を決めた。(伊藤諭志)



1回戦、岡崎城西と日大明誠戦。シュートするのは城西・中村選手

GK F P (審・川島) PT (5) 18

〔斗〕藤 部保橋美藤西野嶋崎谷
〔有〕佐 建久高宇伊古駒寺岩紅
得0044220501400 20 (1)

〔那〕上川芝城木嶋藤山中田井井
〔賀〕井中中宮佐小伊城笠金土中
得0058010030010 18 (5)

市川 24 [1014-18] 14 県岐阜商 (千葉) 立ち上がり市川の一方的な試合展開になるかと思われたが、県岐阜商もよく守り、パスカットからの速攻で得点する。しかし、市川の高いディフェンスを攻め切れず、前半は14-6と市川リードで終了。後半に入り、県岐阜商は田沢の活躍で追い上げるが、市川は速攻ロングと多彩な攻めで県岐阜商の追撃を許さず、高さでパワーに勝る市川の勝利に終わった。(尾崎年英)

得0 0 1 1 0 3 7 0 1 0 1 0
 野頭川井牧山沢 堀 部本上下
 〔岐阜〕 浅鬼草坂小松田 岡栗井木
 GK FP (審・高橋山) PT (2) 14

〔市川〕 間井藤井野山田崎坂
 楓 本坂佐中横吉戸有
 得0 6 5 5 1 0 0 2 0 0 5
 湯沢 22 [913-117] 18 岩国工 (秋田) 高どの岩国工、速さの湯沢の対決となった。前半、岩国の柏木、柏崎が、高い打点からジャンプシュートを打つが、湯沢・井上の好ディフェンスとGK近の堅いキープで思うように得点できない。一方湯沢は、多種多様な攻めから着々と得点し、後半で6人が全員得点を決めた。後半に入って湯沢の足が止まり、徐々に点

差が縮まっていた。しかし岩国は、相手退場のチャンスを生かしかれず、湯沢が逃げ切った。(高須裕二)

得0 0 2 2 8 0 4 2 2 2 0 0 0 0
 浩前秀崎田本井中崎広池村
 〔岩木〕 柏松柏柏山藤藤山末小嶋
 GK FP (審・秋山) PT (2) 18

〔湯沢〕 菅 平田上野田本敦康田
 近 十 赤八井山鶴坂高高山山
 得0 2 3 4 3 0 0 7 0 3 0 3 0
 〔富〕 富 岡栗井木
 〔福岡〕 32 [2012-117] 14 富岡 (群馬) 前半立ち上がりは、両チームとも堅いディフェンスで、お互い得点を許さず、内容の締ったゲームであった。10分過ぎまでは一進一退の展開であったが、単発的なシュートが目立つ富岡に対して久留米工大附は速攻を中心に着実に得点を重ね、15分過ぎから徐々に差を広げ、12-7で前半を終了した。

後半に入ってから久留米のスピードは衰えず、中山のロングシュート00663100000
 〔富〕 橋川泉藤田辺石原部木
 〔福〕 市今安青渡白勸加佐
 GK FP (審・後藤) PT (2) 14

〔山〕 崎山宗山馬元田藤永井上淳
 野野 保 久後安福井平
 得0 0 5 5 3 3 7 4 5 2 0 0 1
 GK FP (審・鳥田) PT (1) 32

ユートなどで連続得点をあげるなど一方的な試合となった。(細井和夫)

長崎日大 23 [2111-109] 19 盛岡第一 (長崎) パワーに勝る長崎日大と鋭いカットインと速い展開で攻撃する盛岡第一の対戦。立ち上がりは両チームともチームの特色を生かした攻めで得点を重ね、息もつかさない接戦を展開した。しかし、上からの攻撃のない盛岡に比べ、長崎の森が力強いロングをよく決め、終始リードした。後半15分、長崎の退場の機に盛岡は得点できず、逆に長崎が得点をしリズムに乗った。長崎のカットイン、ポストプレーに対するディフェンスの良さの勝利ともいえる。(若山利彦)

得0 0 1 0 6 7 1 4 0 0 0 0 0
 井橋條部見野 岡啓向江木
 〔盛〕 中高北阿辺海 石八小鈴鈴
 GK FP (審・田嶋) PT (3) 19

〔大〕 見山本 邦創田佐口本上津
 日増牧松 井井林稲濱山井大
 得0 0 2 7 0 1 0 5 8 0 0 0 0
 横濱商工 29 [1712-18] 16 大谷 (神奈川) ディフェンスの差が得点となって表われたといえるだろう。大谷は、横濱商工の手渡しパス攻撃に対して、ボールに厚く守る工夫はしていたが、密着された時に

ふり切られ、反則が多くなった。ミスが少ない横濱は、田中をはじめとして着々と加点し、試合運びに巧さを見せた。井上のロング、南、中川の速攻で前半は善戦した大谷も、横濱商工の前に屈した。(河合龍二)

得0 0 5 0 1 3 1 4 0 0 2 0
 谷田村上木田下塚 藤川川
 〔大〕 飯木井八前松石 伊中小
 GK FP (審・内記) PT (1) 16

〔小松工〕 小松工の足を使ったスピードのある攻撃に対し、高松商は高尾を中心としたロング主体の攻撃で、前半13分まで両チームとも点の取り合いとなったが、GK池田の好守に助けられた小松工が、高松商のミスから逆速攻で得点を重ね、15-8で小松工ベイスのまま前半を終了。

得0 0 2 1 5 5 1 0 2 0 2 0
 橋内田尾尾川原野川松田田
 〔高松〕 大岡植村高北東藤藤赤鎌吉
 GK FP (審・吉田) PT (3) 18

〔小松工〕 山口原端湖見村田野山田谷
 池木河川江松中福中幸前紺
 得1 0 1 1 1 3 4 6 4 0 0 0 0 0
 GK FP (審・尾高) PT (3) 30

〔濱〕 子謙崎松中賢川林保窪尾田
 横金鈴塩小田鈴小小久荻寺小
 得0 0 2 5 8 0 4 0 0 4 6 0
 小松工 30 [1511-108] 18 高松商 (石川) 小松工の足を使ったスピードのある攻撃に対し、高松商は高尾を中心としたロング主体の攻撃で、前半13分まで両チームとも点の取り合いとなったが、GK池田の好守に助けられた小松工が、高松商のミスから逆速攻で得点を重ね、15-8で小松工ベイスのまま前半を終了。

make-up tomorrow

メイク・アップ、トウモロウ。

財産の運用、ローンのご利用、不動産や年金、相続・贈与の設計など
 お客さまとともに明日を創造するBANK、(ダイワ)をご利用ください。



あなたと明日を

和 大和銀行

後半、高松商は速いボール回しにより何とか粘りのある小松工のディフェンスを崩そうとするが、あせりからのミスが目立ち、小松工のペースは乱れるどころかますます調子をあげ、そのまま小松工の圧勝に終わった。(玉腰意樹)

岡崎城西 22 (1012-118) 19 日大明誠 (愛知)

〔戦評〕速いテンポでのパス回しからカッティン、ロングシュート同ヒタイプチームの戦いになった。岡崎城西は、河合のロングシュート、岩口のポストシュートで得点を重ねた。一方日大明誠も強引なカットインプレーで一進一退の攻防となった。城西は、GK春田の好キープینگでリズムをつかみ抜け出した。

後半15分以後明誠は速攻で追いつけたが、城西が3点差で逃げ切った。(高須裕二)

得0 0472410010
誠 沢 井 沢 林 山 田 井 西 木 野 子
〔明柳〕 福 舘 竹 内 会 荒 川 鈴 西 金 (0)

GK F P (審 田 旅 嶋) PT (0)

〔城西〕 口 田 守 合 野 村 部 方 浦 本
〔城西〕 岩 野 江 河 松 中 阿 井 杉 倉
得0 051063400030
明 星 (熊本) 熊本市商 22 (0)

(東京) 25 (916-109) 19 熊本市商 (熊本)

〔戦評〕前半立ち上がり熊本にミスが目立ち、明星の速い攻撃を許し、9-16で前半を終了した。後

半、熊本は上から打たず、ディフェンスが成功し、よく守り、よく攻めたものの、シュート力に勝る明星が25-19で勝利を握った。なかでも明星・布田は、前・後半ともよくシュートを決め、13得点をあげて勝利への原動力となった。(唐沢立夫)

得0 06012650000
熊本 志 永 口 萬 村 田 塘 田 本 玲 星 口
〔熊本〕 宮 増 植 阿 中 改 浦 鶴 宮 赤 井 本 (1)

GK F P (審 岡 本 水) PT (1)

〔明星〕 田 随 田 水 原 井 浦 持 茂 手
〔明星〕 神 守 布 清 秋 酒 三 倉 種 井
得0 013190011000
明 星 光 学 院 28 (1711-106) 16 釧路湖陵 (福島)

〔戦評〕前半、釧路の固さが目立ち、ミスが多く、聖光がボールを回し得点していた。釧路は単発のロングシュートを打つが、あまり決まらず、攻めが単調で、聖光ベイスで前半11-6で終えた。後半立ち上がり5分間も釧路のロングシュートの単発が目立ち、聖光が

得0 03073200010
〔釧路〕 田 水 訪 藤 本 藤 塚 藤 原 村 川 村
〔釧路〕 武 清 潔 安 山 佐 手 齊 下 吉 石 西 川 (0)

GK F P (審 夏 日 谷) PT (0)

〔光〕 地 中 賢 満 誠 子 弘 野 卷 利 和 英
〔光〕 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤
得0 024175100620
聖 野 田 佐 齊 加 金 佐 菅 八 加 佐 齊 (4)

〔聖野〕 聖野田佐齊加金佐菅八加佐齊

28 (4) PT (0) 16

たて続けに速攻を6本決め、ここでこの試合を決定づけた。その後お互いやや雑になったが、結局28-16で聖光学院が圧勝した。(青木英樹)

尾 道 22 (139-1010) 20 西宮東 (広島)

〔戦評〕両チームとも初戦のせいから開始10分間イージーミスの連続で今一つムードに乗りきれない。小さなミスを繰り返す西宮東に対し、尾道は効率よく得点する。しかし、西宮東の高いディフェンスは、徐々に尾道にプレッシャーをかけ、22分には9-9の同点、さらに逆転して10-9と西宮東の1点リードで前半終了。

後半13分、尾道は15-15と追いつく。ここで尾道に退場者が出たが、西宮東の単調なシュートは逆に尾道に速攻を許し、結局この差が最後まで縮まらず、22-20で尾道が勝つ。(上原治二)

得0 07370300000
〔西宮東〕 田 川 瀬 原 口 本 吉 井 上 内 木 水
〔西宮東〕 窪 森 広 栗 野 藤 秋 永 村 川 黒 清 (2)

GK F P (審 河 合 比) PT (2)

〔尾道〕 田 原 野 崎 林 本 田 平 瓜 田 田 国
〔尾道〕 岡 西 天 小 松 宮 神 大 猪 桑 中 竹
得0 0190446200000
尾 道 22 (2) PT (2)

〔尾道〕 尾道

22 (2) PT (2)

2 回戦

桜 台 22 (111-612) 18 長浜北 (滋賀)

〔戦評〕開始早々、長浜がスカイプレーを決め波に乗り、6-3とリード。しかし、17分に桜台は長浜北・中山にマンツーマン・ディフェンスをすると、長浜北にミスが目立ち、結局12-11と長浜の1点リードで前半を終了。後半開始後、桜台GK岩佐の好守をきっかけに4点を連取、15-12と一気に逆転した。しかし、長浜北も追撃を見せ、一進一退を繰り返した。しかし、長浜北の再三の攻撃に対しGK岩佐の好守が目立ち、22-18で桜台が逃げ切った。(松原英司)

得0 07070340003010
〔長谷〕 北 川 山 隆 勉 川 良 水 田 村 英 岡
〔長谷〕 長 成 中 吉 中 田 中 清 若 河 吉 山 川 (1)

GK F P (審 秋 山 森) PT (1)

〔合〕 佐 野 田 田 谷 本 合 野 上 本 村
〔合〕 桜 岩 坂 山 内 板 鎌 渡 落 草 山 鳥 鈴
得0 03380030000053
合 22 (1) PT (1)

〔興南〕 興南 19 (811-710) 17 三島

〔戦評〕高さの三島と左右の振りの興南の対決は、ロングの打ち合いで始まった。両チームともよく守り、互いに譲らず一進一退を繰り返した。横の振りのない三島は興南のディフェンスに阻まれ、鳥平と伊勢坊のロングの多投となるが、興南GK我謝の好守に得点を

興南 19 (811-710) 17 三島

興南 19 (811-710) 17 三島

Victor

今日のヒーローは
背番号6。


ヒーローになる選手は、どこか輝いている。
新発売のコンパクトカラー「6inch Magazine」も、ファッションブルースポーツで、感度バツグンのパーソナルタイプ。輝いているナー。

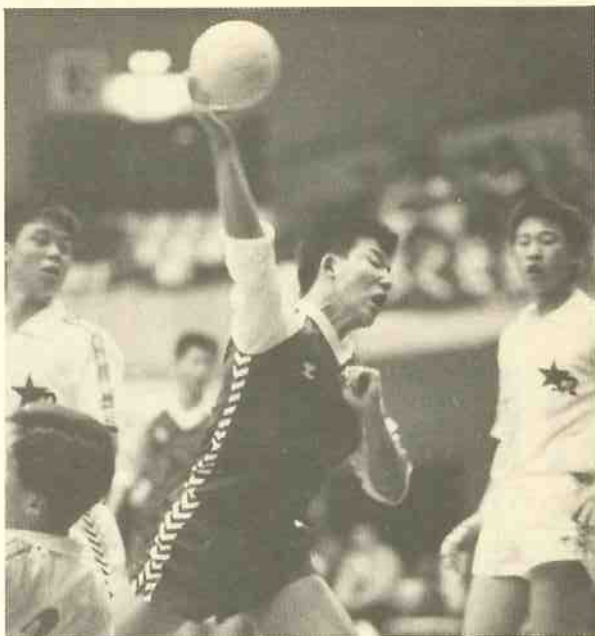
ハンドボールを満たす

Magazine

6inch

6型コンパクトカラーテレビ
CX-60
標準価格 79,800円 (AC電源付)





3回戦、明星対四日市工。四日市工・久保田選手のシュート

いが続いた。しかし聖光は、前半の点差を縮めることができず、結局21-18で明星の勝利に終わった。(尾崎年英)

四日市工 18 (9-16) 15 尾道 (三重)

〔戦評〕得点が両チームとも入らず、ドタバタとした前半の導入部分となった。お互いに攻撃の型ができ上がる前にシュートミスを繰り返した。10分過ぎからシュートが決まりだったが、四日市は尾道に比べ得点者、得点方法が多岐にわたり、前半はその差が出た。後半は、両チームとも9点ずつを入れたが、どちらのチームもそれ以上得点をあげられなかったのは、

四日市はシュートミス、尾道はパスミス、チャージ、オーバードなどで両者ともチャンスをつぶしたためであろう。(井田浩彰)

得00110020100001
道田原野崎林本田平瓜田田園

〔尾〕岡西王小松宮神大猪桑中竹
G K F P (審・岩永・井)

〔市〕橋島野匂田野田湖垣井峰山
〔大〕大川奥酒城大久多稲藤高石
得0066101400000

18 (0) P T (4) 15

3回戦

興南33 (1518-1212) 24 桜台

〔戦評〕興南のパワーとスピードに対し桜台のテクニクがどこまで通じるかが見所であった。前半は興南のパワフルな攻撃が目立ち、各人がまんべんなく得点した。これに対し桜台は、山田のポストプレーを中心に得点したが、18-12と興南のリードで折り返した。後半に入っても興南の攻撃は止まる所を知らず、ロング、ミドル、ポスト、サイドシュート、速攻とどこからでも得点できる強味を發揮し、桜台をねじ伏せた。(津田)

得0064023000050
台佐野田田谷田本合野上本村

〔桜〕阪山内板鎌榎落草山鳥鈴
G K F P (審・岡本)

〔興〕南謝城城川次堅浜原井吉嘉
〔我〕宮金石渡具吉上嶺又比
得05400105756

〔各〕留米天附22 (139-17) 15 市川
〔戦評〕両チームとも高さスピードを誇る好ゲーム。ロングシュートの争いかと思われた試合が、互いに得点を許さず、白熱したゲーム展開となる。特に前半、市川は久留米工大附に対し、積極的なディフェンスでロングシュートを簡単に打たせず、逆にタイミン

グの良いシュートでよく食い下がる。

後半に入ると、久留米は市川の有坂にマンツーマン・ディフェンスを仕かけ、市川のリズムを崩し、着実に得点を積み重ねる。これに対し市川は、20分過ぎ粘りを見せるが追いつけず、久留米工大附の勝利で終る。(菅原弘勝)

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔横〕濱子謙崎松中賢川林窪尾山
〔金〕鈴木小田鈴木小荻寺小
得00334400300490

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

〔市〕小椋 本坂佐中中横吉戸有
〔川〕林 間井藤井野山田崎坂
得022120030005

服飾文化の発展とともに

三景グループは、企業の使命感と創造の精神を礎に、
不断の歩みを続けています。



株式会社 三景

代表取締役社長 北野喜美夫

本社 〒101 東京都千代田区岩本町3-4-12 TEL. (03)861-7161

●第10回全国高校選抜大会

かみ出した岡崎城西は何とか追いつこうとするが、序盤の差を縮められぬまま前半を終了した。後半も横浜商工はGK金子の好守によりますます勢いに乗り、着実に岡崎城西を引き離し、ベスト4の切符を手にした。(玉腰憲樹)

明 星25 [1312 | 14] 20 四日市工

〔戦評〕開始早々警告2回、退場1回をとられ四日市工は苦しい立ち上がり強いられる。そのすきに乗り明星・布田が4本続けてシュートを決めて有利に試合を運ぶ。11分を過ぎて四日市工は明星・布田にマンツーマンで守り、明星の攻めのリズムを失ったところを逆に酒匂が4本続けてロングを決め、前半を14-12と四日市のリードで終える。後半、明星は横の早い動きからのカットインを切り、ディフェンスの遅れからベナルティ、ズラしによるサイドシュートで得点を重ねていった。一方、四日市はディフェンスの近い位置でしかも動きのない攻めをし、結局攻め切れないまま試合終了。(勝間正吉)

得0057100610000
〔四日市〕橋島野 田湖垣 峰山
〔大川奥酒城大久多稲藤高石〕

G K F P (審・石本)

〔明〕田随田原井浦持茂手
〔神守布萩酒三倉種井〕
得00114252001

準決勝

久留米工大附24 [1113 | 11] 20 興南

〔戦評〕九州勢同士の戦いとなったこの試合、最初から取っては取り返すといった白熱したスタート。両校ともよく走るスピード・ダイナミックな展開であったが、次々とくりだされる興南のポストへのパスをよく守って連続速攻につなげた久留米工大附が頭一つ抜け出した。その後興南はGK我謝の好キープینگ、又吉のサイドシュートなどで粘り久留米に退場者が出たすきに上原のテクニクあふれるプレーで1点差にまで迫るが、反撃もそこまです。最後は久留米・東島のサイドシュートで万事休した。(根来英介)

得0240000062551
〔興南〕城川次堅 浜原井吉嘉
〔我我〕宮金石渡 具吉上嶺又比

G K F P (審・島田)

〔久留米〕崎山宗山 島元田藤永井上淳
〔久留米〕久條森平 中東杉久後安福井平
得002533630020

横浜商工15 [7 | 5] 10 明星

〔戦評〕GK神田の好守により明星ベースで始まった。しかし、前半10分あたりから横浜商工は本来の調子を取り戻し、

18分には逆転に成功。前半は7-5と横浜のリードで終了した。後半に入ると、一進一退の激しい攻防が展開され、明星も一時は1点差まで追い上げたが、地方に勝る横浜商工が残り5分で3連続得点し、決勝戦へ進出した。(尾崎英美)

得0034010002
〔明〕田随田原井浦持茂手
〔神守布萩酒三倉種井〕
G K F P (審・川島)
〔久留米〕子謙 崎松 中賢 川林 保窪 尾田
〔横浜〕金鈴 塩小田 鈴木 小久 荻寺 小山
得0022230600011



4回目の優勝を飾った久留米工大附の面々

決勝

久留米工大附21 [1110 | 4] 13 横浜商工

〔戦評〕実力校同士の対決となった男子決勝の前半は、久留米工大附が外からのシュート、ポストプレー、速攻と多彩な攻撃を展開、対して横浜商工もポストがらみのコンビプレー、ミドルシュート、速攻と一歩も譲らない。守りでも高さの久留米、動きの横浜と互いに持ち味を生かした25分間となる。久留米の1点リードで折り返した後半は、久留米はディフェンス・ラインをゴールエリア・ラインまで下げ、小さなパスと動きで崩してくる横浜の攻撃の要所をビタリと押さえ、後半を4失点に押さえ、攻めでも前半同様着実に加点していった。横浜商工も粘りを見せたが、終盤力尽き、意外な点差をつけられてしまった。総合力に勝る久留米工大附が、2年連続4回目の優勝を決めた。(近藤嘉明)

得0021220400220
〔横浜〕金鈴 塩小田 鈴木 小久 荻寺 小山
〔久留米〕崎山宗山 島元田藤永井上淳
〔久留米〕久條森平 中東杉久後安福井平
得00113346100030

G K F P (審・岡本)

〔明〕田随田原井浦持茂手
〔神守布萩酒三倉種井〕
得00114252001

女子 昭和学院が初優勝

1回戦

川口青陵 24 [12 | 12 | 9] 12 大分雄城台 (埼玉)

〔戦評〕大分雄城台のスローオフで始まったこのゲーム、川口青陵の堅いディフェンスに苦戦。青陵は立ち上がり、紅林、厚沢がポストシュートを決めゲームの主導権を握った。その後も青陵は速攻、ポストシュートと確実に得点を重ね、差を広げた。しかし20分過ぎ、雄城台は糸圍らの活躍で連続5得点し、前半を3点差まで追い上げた。

後半立ち上がり、青陵は連続3得点を取りゲーム運びを楽にした。その後も青陵は速攻、ポストシュートを中心に得点を重ね、一方雄城台も巧みなボール回しで相手デ

得0023040021000
城台も巧みなボール回しで相手デ
得0023040021000
城台も巧みなボール回しで相手デ
得0023040021000
城台も巧みなボール回しで相手デ

イフェンスを揺さぶるが、今一つ決定打に欠けた。(梶田芳伸)
鳳川学院 15 [8 | 7] 14 北海道二 (兵庫)
〔戦評〕古谷の速攻などがたて続けに決まり、北海道二の一方的な試合になるかと思われたが、北海道はロング、ミドルシュートが入らない。そこで細かいプレーに来る所を鳳川が速攻につなげ、前半20分に逆転に成功。さらには後半開始早々、退場者が出たスキにリードを広げ、北海道は、ようやく若林のミドルなどで追い上げ、残り2分、1点差とするも消極的な攻撃で自らチャンスをつぶしてしまった。(河合龍二)

に堅くなり、ミスが多かった。その後は上磯・柴田・聖和・田島を中心とした速攻、サイド攻撃で一進一退を繰り返した。14分過ぎから聖和の早い攻撃が生き、聖和の2点リードで前半を終了。
後半、立ち上がり上磯が2点を連取、一時同点としたが、3分30秒過ぎ、上磯・森が退場してから聖和ペースとなり、速攻などで5点差となった。上磯も頑張り15分過ぎ2点差としたが、20過ぎに再び聖和が引き離して、18 | 14で勝った。(青山穂高)

差で折り返した。
後半に入っても粉河のスピードは衰えず、高松商が10分間無得点に押し着実に加点、残り10分で8点差をつけ安全圏に入った。特に後半は粉河のディフェンスが光り、高松商はエースの故障(足首)に泣いた試合であった。(木和田晋弘)

差夫に得点する事ができた。後半は、前半の大差のため郡山は集中力に欠け、ミスが多くなった。一方熊本は、エース・酒井をさげる余裕を見せた。(木村英資)
得0070120050000
山木野内山と城本野池辺見
〔郡〕鈴音柳影吉吉山橋伴青渡七 (0)



1回戦，川口青陵対大分雄城台。雄城台・梶原のシュート

たのが残念である。(河合龍一)
 得004231020010
 [ユ合] 井島多田恵洞口恵中
 [緑木] 西木田山田
 [高川] 夏中高柴山小江山弘
 (2) 13
 GK FP (審・細山沢) PT
 和田 田三原間村口優部崎藤
 [昭石] 熱高伊座田井高阿山齊
 得063080020000
 小松商 15 (917) 14 徳山商
 (石川) (617) (山口)
 (戦評) 小松商のスローオフで開始、先取点は徳山商・福成寺のロングシュートであった。その後、徳山商は攻守に堅さが見られ、その間に小松商は速攻、カットインPTと得点を重ね、いったんはベイスをつかんだように思えたが、再び福成寺のロングシュートが3

本決まり好ゲームとなった。後半に入り、小松商のロングシュートを中心に4点連取し、6点差をつけてゲームを決定づけたように見えた。
 しかし、得点差の安心感からミスが多くなり、残り4分で1点差に追いつかれたが、どうにか逃げ切った。(小田龍夫)
 得0000228100000
 [山] 嶋長崎崎田林寺根田根村本
 [徳] 中世北川福小福山藤曾吉山
 (4) 14
 GK FP (審・杉本) PT
 方村崎川下本井田 村下田
 [松] 小東北宮長松宮坂吉 石谷高
 得000000030073200
 佼成学園 24 (1219) 17 山陽女
 (東京) (118) (広島)

1回戦，川口青陵対大分雄城台。雄城台・梶原のシュート
 (戦評) 優勝候補同士の好カード。立ち上がり、山陽女がロング、速攻、ポストでリードを奪い5-1。しかし、佼成学園女がサイド、速攻で巻き返し、15分には6-8とする。その後、両チームのロングの打ち合いとなったが、山陽女にミスが出て、それが佼成の速攻に結びつき、前半残り5分には逆転した。
 後半、佼成女のDFが山陽女のミス誘い、攻撃が波に乗り、切れのあるシャープな攻撃でポストに頼るしかない山陽女を寄せつけず、終始リードのままタイムアップを迎えた。(木和田晋弘)
 得0070143110000
 [山] 崎貞田九本久山田崎下田中
 [柴] 森上九山長大本玉山山
 (3) 17
 GK FP (審・永田) PT
 井塚川藤吉子村印山田谷橋
 [成] 宇戸湯近竹真三執杉村桐高
 得00311450100000
 向陽 15 (7110) 13 福井商
 (京都) (813) (福井)

結局15-13で向陽は2回戦へコマを進めた。(津田)
 得0023021500000
 [才] 山沢子木生内橋野林田川
 [井道] 小帰米金藤竹伊高牧小篠長
 (2) 13
 GK FP (審・高橋) PT
 村景田村山榎 上原越谷井
 [陽] 西梅上新盛大 井藤島長白
 得0022413300000
 名短付 28 (131517) 16 読谷
 (愛知) (沖縄)

結局、スピードに勝る名短付が勝利を取めたが、速攻のつなぎな得00302240302020
 [谷] 程久根波着原恵山湾間寿出
 [読] 天仲伊富池比富大仲比比
 (1) 16
 GK FP (審・岡本) PT
 永川野野庄田山枝 田島藤
 [短付] 徳宮日岩寺岩丸国 八上近
 得00663304243300
 28 (2)

(戦評) 速攻を主にセットでもオールドラウンドの攻撃力をもつ名短付、GK徳永の活躍もあり、有利にゲームを進めていった。沖縄のチームらしくフェイントを中心にゆさぶりをかけ、相手のミスにつけ込んだ得点を重ねて反撃を見せる。前半中ば過ぎに読谷ディフェンスの足が止まり、手で守る場面で目につき退場者が出始めると、名短付の一方的な試合展開になっていった。
 結局、スピードに勝る名短付が勝利を取めたが、速攻のつなぎな得00302240302020
 [谷] 程久根波着原恵山湾間寿出
 [読] 天仲伊富池比富大仲比比
 (1) 16
 GK FP (審・岡本) PT
 永川野野庄田山枝 田島藤
 [短付] 徳宮日岩寺岩丸国 八上近
 得00663304243300
 28 (2)

adidas®



株式会社デサント/デサントレーディング株式会社

ど今一つであり、2回戦の課題となるであろう。(渡辺貞彦)

松山北 17 [5-8] 13 釧路星園

(愛媛) 17 [12-5] 13 (北海道北)

(戦評) 釧路星園、松山北とも全

員で走り、守る似たチーム同士

の対戦。前半は、釧路星園・重野

の活躍で8-5と有利に展開。後半

に入り、釧路に退場が出た間に松

山北が4点を連取し同点とした。

その後、釧路は重野を軸に、松山

北は全員の走りで一進一退の展開

となった。

残り5分から釧路星園の足が止

まり始めたところを松山北が走り

で突き放した。(加藤照信)

得002101800001

路地瀬部田田夕野村や井口浦

〔釧生高渡七山平重田平松川三

G K F P (審・夏谷) P T (1) 13

〔北〕林野本部田本山田田

〔松山〕横高河渡泉新松萩藤和

得002116250000

彦根商 18 [17-7] 15 大曲農

(滋賀) 18 [17-8] 15 (秋田)

(戦評) 立ち上がり大曲農・小友

がフェイントからのシュートで先

制した。両チームともにディフェ

ンスが粗く、雑な試合展開となっ

た。しかし、彦根商は相手のミス

をつき、着実に得点を重ねた。一

方大曲農も多彩な攻撃で得点し、

前半7-7で終了した。後半、立

ち上がり大曲農が連続得点でべ

スをつかみかけたが、彦根商もセ

ットプレーが決まり出し、一進一

退の試合展開となった。スピード

テクニクで勝る彦根商が18-15

で勝利を取めた。(伊藤文彦)

得003721200000

〔木〕木野藤晃野友薫由藤秀紀沢

〔大〕大鈴草後小今小佐佐齊小長

G K F P (審・羽田) P T (4) 15

〔川〕川圓 石木鋒藤矢山間越坪

〔彦根〕彦根 森 田村山居野田柴智田

本 庄 22 [1210-6] 12 栃木女

(宮崎) 22 [1210-6] 12 (栃木)

(戦評) 前半10分過ぎ、1-5と

苦しいスタートをした栃木女は、

動きの良い本庄のディフェンスを

なかなか崩せない。着々と加点す

る本庄、必死に食い下がる栃木女

前半は10-6と本庄が4点をリ

ド。

後半に入っても本庄の足は止ま

らず、中盤過ぎからミスの目立つ

ようになった栃木女。本庄は新坂

の巧みなパスで栃木女のディフェ

得00000080000022

〔木〕沼下崎気嶋 家部本森合

〔老〕老山黒和池 山 磯橋高落

G K F P (審・川比) P T (0) 12

〔田〕田山坂子藤郷高田原藤下玉

〔本〕本坂新金佐東日梅海後木児

得00056046100000

22 (2) P T

ンスを乱し、着々と得点。最後は、

動きの量の差が得点差となったゲ

ームであった。(上原治一)

〔三重〕 16 [8-6] 13 大阪福島女

(戦評) 前半は、両チームともに

パスミス、キヤッチミス、オーバ

ーステップなど初歩的なミスが多

く、スピード感のない拙い試合展

開で始まったが、やや走り勝った

晩が8-6とリードして後半を迎

える。

後半になっても、両チームとも

にオフエンス、ディフェンスにお

いて考えたプレーが見られず苦し

い展開であったが、結局、基礎体

力を勝る晩が16-13で大阪福島女

を制した。(勝間正吾)

得0012271002000

〔鳥〕川井崎野高井原山上 山嶋

〔福〕中松江上古角郡巻村 奥当

G K F P (審・羽田) P T (4) 13

〔林〕林岡田田宅田峰田根本崎山

〔曉〕小片石柴三内永戸中西小上

得000062000610001

2 回戦

川口青陵 18 [9-9] 15 静岡城北

(戦評) 静岡城北が出足、川口青

陵の足がまだ動いていないところ

をつき、両フロイターの切れ味の

あるプレーを軸に4-1とリード

した。しかしその後、川口青陵が

得意のフロイターとポストのコン

ビプレーが合い始め、静岡城北デ

ィフェンスを崩し、得点を重ねて

逆転し、前半9-6と川口青陵リ

ードで終了。

後半に入り、静岡城北ディフェ

ンスがよく動き、ロングなどで迫

いついた。その後、川口青陵・中

野、静岡城北・大原を軸にした攻

撃で一進一退を繰り返した。残り

3分から静岡城北のディフェンス

が甘くなったところを川口青陵が

カッターイン、ポストを3連取して

静岡城北を突き放し、勝利を収め

た。(加藤照信)

得001133224000020

〔北〕垣月原俣上津原村仲島代木

〔城〕石望桑小石島大北野森田鈴

G K F P (審・羽田) P T (2) 15

〔久〕久藤部野下嶋田野恵沢林橋

〔青〕青藤 木藤

〔陵〕佐半渡天宮永七中佐厚紅高

得000100013354440

〔風〕風川学院 34 [2113-6] 11 聖

(戦評) 試合開始早々、P、T、連

攻、カッターインと小沼が連続得点

いち早く波に乗ったのは風川であ

った。その後も、風川は上野の確

実なサイドシュートを中心に着々

と加点。一方聖和は、大切な場面

でのシュートミスが目立ち、両車

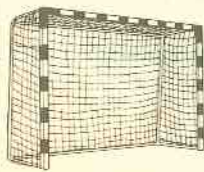
のかち合わないまま前半を終了。

後半に入ってから益々勢いを得た風川

SANWA TAIKU

三和体育製販株式会社

〒332 埼玉県川口市緑町9番15号 川口 (0482) 56-2368代



検定合格品

- ゴールポスト ●S-3423 ¥180,000 木製
- S-3430 ¥410,000 アルミ製
- ゴールネット ●S-3426 ¥32,000 スーパーポリ
- S-3427 ¥25,000 ポリエステル



●第10回全国高校選抜大会

は、ロングシュートはないもののフロターとのコンビよく、ボストやサイドシュートが次々に決まり、21点をたたき出した。聖和は後半開始5分、キャプテン菅井の負傷欠場による戦力ダウンが響いたが、最後まで粘り強く戦った。

(伊藤論志)

得0011132000030
和野藤木井真根島田康野倉藤
〔聖今伊鈴菅遠大田芳速広片加〕

G K F P (審・板倉) P T

〔川〕森澤村沼下亜田朝知吉記西
〔鳳〕重瀧西小山中姫上野又中
得0068000117020
熊本女商22 (111-8) 17粉 河

〔戦評〕前半立ち上がりは、両チームとも動きが堅くミスが多かったが、5分過ぎから徐々に持ち味を出し、一進一退のゲーム展開となった。

前半残り5分から熊本女商は酒井、内田のロングシュートなどで連続得点をあげ、11-8でリードした。

後半に入っても、熊本は酒井の切れの良いロングシュートや速攻でじわじわとリードを広げた。それに対して、粉河も10分過ぎから速攻などで反撃し、よく粘ったが前半終了間際の失点が大きく最後まで響いた。(細井和夫)

得00300005420000
河平尾島合幣馬川本内上玉口
〔粉〕藤中福達高美滝山竹川児戸

G K F P (審・後藤) P T

〔女〕田川田井野田林井角丸本
〔平〕黒久松酒河内栗塩野吉橋
得0024753100000

昭和学院15 (9-6) 9小松商

〔戦評〕開始早々双方とも堅さが見られたが、昭和学院・座間のロングシュートで勢いのついた昭和が加点していった。特に、小松商のディフェンスに対してキャプテン高橋の確実な右サイドシュートが目立った。一方小松商は、前半8分過ぎに谷下のカットインで得点したが、ペナルティなどのミスが響いた。

後半に入ってから早々、昭和・高橋が退場となり、小松が波に乗るかと思われたが、速攻が出ず、シュートミスも多かった。昭和は、座間のロングがよく決り、確実に加点していった。(川地政人)

得0000011006020
〔小〕東北宮長松宮坂吉 石谷高
〔高〕方村崎川下本井田 村下田

G K F P (審・松ヶ谷) P T

〔和〕田三原間村口優部崎藤
〔昭〕石熱高伊座田井高阿山斉
得0512600010000

佼成学園女24 (121-4) 10向陽

〔戦評〕開始6分までとうまくリズムに乗ったかのような向陽が4-2とするが、徐々に速いテンポのパスがつかなくなるようになり、佼成学園が20分には10-6とリード、前半を12-6で終了。後半に入っても、攻撃のリズムに乗り切れな

い向陽、ローリングからのシュートも単調なためゲットすることができず、後半13分、18-8と10点差となる。フェイントをかけるも足の動きも鈍く、抜き切ることができない。最後まであきらめず頑張る向陽、しかし余裕を見せる佼成の前に、その頑張りも点差をつめるまでに至らず24-10で終わる。(上原治一)

得0051112000000
〔向〕西梅上新盛大 井藤島長白
〔陽〕村原田村山根 上原越谷井

G K F P (審・内記) P T

〔成〕井塚川藤吉子村印山田谷橋
〔佼〕宇野野近竹真三執杉村桐高
得0072701150200

各短付31 (1417-5) 13松山商

〔戦評〕名短付の一方的なゲーム展開であった。前半、松山北はセンター中心の攻撃でロングシュートを狙うが、名短付の堅いディフェンスに阻まれ、なかなか得点することができない。一方名短付は、

スピードあるれる速攻、多彩な攻撃で着実に得点を重ねる。

後半10分過ぎ、松山北は速攻、サイド攻撃で粘りを見せるが、地方に勝る名短付が圧倒した。(菅原弘勝)

得0050044000000
〔山〕林野本部田本山山田田
〔松〕横高河河渡泉新松萩藤利

G K F P (審・田嶋) P T

〔永〕永川野野庄田山枝 田島藤
〔比〕比井 陰 八上近
得001272000136000

本庄14 (5-5) 11彦根商

〔戦評〕前半出だし堅さのとれない本庄のミスをついた彦根商が先行したが、徐々に足が動きだしてきた本庄は、5-1ディフェンスからの速攻、新坂のフェイントからの好配球を受けてのセットで逆転し、ペースをつかんでいった。後半は両者とも雑な展開で、攻めてはチャージ、守っては警告、退場となかなか得点できないまま時

得0021330110000
〔彦〕崎城 田村山居野田柴智田
〔川〕川圓 石木録藤矢山間越坪

G K F P (審・川島) P T

〔庄〕田山坂子藤郷高田原藤下玉
〔本〕坂巢新金佐東日梅海後木見
得00171400100000

各種記念品 バッチ・メタル・優勝カップ・楯 トロフィー・ネクタイ止・金銀製品 製造販売

三栄記章株式会社

電話 東京(03)973-0741(代) 東京都板橋区中丸町49-3
〒173 FAX. 東京(03)973-0674

が甘く、チャンスをものにできなかった。それに対して俊成学園女は、近藤、執印のステップ、ロングシュートが効果的に決まり、名短付を突き放した。(細井和夫)

本庄 14 馬

8	5
3	6
1	1
2	1

13有

〔戦評〕立ち上がりは両チームともディフェンスがよく、なかなか得点ができない。しかし、有馬はサイド、ポストの攻撃で得点。一方本庄は、キャプテン新坂を軸にスピードある攻撃で得点を重ね、前半は8-5で本庄リードして終了した。後半に入って、両チームとも攻撃の組み立てができず、ロスコアの試合となった。しかし、有馬は相手のミスとサイド攻撃で得点を重ね、同点に追いつき延長戦に持ち込んだ。延長戦は有馬が先制したが、本庄も踏んばりを見せ同点とし、最後は本庄の金子がロングシュートを決め、勝利を手にした。(伊藤文彦)

準決勝

昭和学院 16

7	4
5	8
4	0
0	3

15川口青陵

〔戦評〕両チームとも、開始当初から相手のエースにマンツーマンをつけた。川口に先行された昭和は、5分に同点に追いついた後、さらにたたみかけて4-1とリード、波に乗るかに見えたが、ここから川口も2回のパッシブプレーを奪うなど粘り強く反撃し、一進一退の攻防が続く。結局前半は7-4と昭和が3点リード。後半に入り、川口は昭和ミスをついて着実に加点、20分にはついに同点に追いつき延長に。

延長では、昭和が前半終了間際に川口が2人の退場者を出したのに乗じ着実に得点を重ね、後半、川口の必死の反撃をふり切って1点差で逃げ切った。(小林公徳)

得0002200251230
久藤部野下嶋田野恵沢林橋
〔青藤〕木藤

GK FP (審・細山) PT (1) 15

和野田三原間村口優部崎藤
〔石〕高伊座田井高阿山
得00144173000000

本庄 22 〔913 | 101〕 21俊成学園女

〔戦評〕前半、開始から本庄優位で始まり、10分までに4点差をつけたが、俊成学園女もキャプテン竹吉のパスワークから近藤、執印らのロングで徐々に点差を縮め、前半13-11と本庄リードで折り返した。

後半も前半同様、本庄のスピード豊かな攻撃が続き、着実に得点をあげ、DFでもキャプテン新坂中心に積極的なつめで俊成の竹吉、執印のシュートを押さえた。終盤反撃したが、力及ばず涙を飲んだ。(岩田安規)

得0014821200021
井塚川藤吉子村印山田谷橋
〔俊野〕名

GK FP (審・細井) PT (4) 21

田山坂子藤郷高田原藤下玉
〔坂〕新金佐東日梅海後木
得000312122200000

決勝

昭和学院 13 〔6 | 2〕 7本庄

〔戦評〕開始30秒、決勝の重苦しい緊張した雰囲気を一掃する。昭和・高橋のポストシュート、本庄の攻撃リズムをつくらせないマンツーマンディフェンス、本庄は得点の糸口がつかめない。11分、昭和・座間のロングが左隅に決まり、4-1。本庄GKはしばしばサイ



共に初優勝を賭けての昭和学院対本庄の決勝戦

ドノーマークを止め場内を湧かす。しかし点差をつめることができず、前半6-2で終わる。後半に入り、本庄は昭和・座間にマンツーマンで、何とかこのベイスを変えようとするが、昨日までの鋭い動き、全員ディフェンスが見られない。残り3分になってやっと本庄らしい速いテンポの攻撃が出て場内を湧かせた。このリズムが早く欲しかった。固い守りの昭和のディフェンスからの攻撃が光った決勝戦であった。(上原治二)

得000301120000
田山坂子藤郷高田原藤下玉
〔本〕坂新金佐東日梅海後木

GK FP (審・島藤) PT (2) 7

和野田三原間村口優部崎藤
〔石〕高伊座田井高阿山
得00123230020000

本庄 13 〔0〕

中正杯(チュンチエンカップ)報告

男子は5位、女子は3位

4月13日から17日まで台湾で開催される中正杯(チュンチエンカップ)に参加した日本の男女ジュニアチームは、男子は5位(参加6カ国)、女子は3位(参加5カ国)の成績でした。

今回はアジア諸国ばかりではなく、ヨーロッパからもスウェーデン、オランダ(男子)、デンマーク、西独(女子)といった強豪が参加、大変高いレベルでの大会となり、本年末のジュニア世界選手権大会を目指す日本チームにとって良い経験をしての帰国となりました。

成績

〈男子〉

▼4月13日	スウェーデン	27	1215	7	8	15	日本
▼4月14日	台湾	41	2219	9	4	13	香港
▼4月14日	台湾	22	139	1012	22	オランダ	
▼4月14日	韓国	47	2621	4	4	8	香港

▼4月15日	韓国	33	1914	1412	26	日本		
▼4月15日	オランダ	42	2121	6	10	16	香港	
▼4月16日	台湾	32	2111	1111	22	日本		
▼4月16日	スウェーデン	23	1112	1013	23	韓国		
▼4月16日	オランダ	20	9	11	11	8	19	日本
▼4月16日	スウェーデン	58	3325	3	5	8	香港	
▼4月17日	韓国	33	1617	1514	29	台湾		
▼4月17日	日本	31	1516	4	3	7	香港	
▼4月17日	韓国	31	1615	1214	26	オランダ		
▼4月17日	スウェーデン	28	1216	1210	22	台湾		

〔順位〕①スウェーデン②韓国③台湾④オランダ⑤日本⑥香港

▼4月14日	韓国	42	2121	8	10	18	日本	
▼4月14日	日本	19	6	13	8	8	16	西独
▼4月15日	デンマーク	31	1912	11	9	20	台湾	
▼4月15日	デンマーク	19	10	9	8	10	18	日本
▼4月16日	韓国	32	1618	10	6	16	西独	
▼4月16日	韓国	18	9	9	7	11	18	デンマーク
▼4月17日	日本	24	1212	1211	23	台湾		
▼4月17日	韓国	48	2523	9	10	19	台湾	
▼4月17日	デンマーク	22	14	8	10	3	13	西独

〔順位〕①韓国②デンマーク③日本④西独⑤台湾

男子監督・早川清孝

昭和62年度男子ジュニアナショナル選手強化の一環として、中正杯(チュンチエンカップ)に男子ジュニアチームが初めて参加、想像以上のハイレベルに驚かされた。それとともに、アジア地域のハンドボールもさることながら、ヨーロッパ(スウェーデン、オランダ)のハンドボールにも接する機会ができたことは、日本チームにとっての大変有意義な大会となった。しかし、残念なことには、4月上旬というのは年度始めで、社会人(新入社員)の研修があり、大学生は学業登録や春季リーグ戦などでジュニアナショナルチームとしてベストメンバークが組めず、今大会は社会人選手が中心となる人員構成で臨むこととした。

社会人選手16名という当初予定が、参加辞退者や体調不十分者、戦力外者などで、最終的には大会エントリーぎりぎりの13名(1名負傷者)で臨まなければならぬアクシデントがあり、戦力的に多少の不安を残ったものの、"明るく元気に"をチームのモットーにチャレンジする。

大会参加チームは、男女6カ国(スウェーデン、オランダ、韓国、香港、台湾、日本)、女子5カ国(西ドイツ、デンマーク、韓国、台湾、日本)で、男子それぞれ4月13日~17日(5日間)におけるリーグ戦方式で開催された。

宿舎は桃園市(TAOYUAN HOLIDAY HOTEL)で、

大会会場は林口市国立体育学院体育館であるが、選手たちはバス輸送(約30分)の強行スケジュールでコンディションの調整に苦慮したようである。

成績は上記のような結果であるが、各試合とも内容的に見て決して点差程の優劣があるものではなかったし、特にオランダ戦や台湾戦では勝機が十分あったにもかかわらず、みすみすチャンスを失った感が強く、悔いの残る試合であった。

全体的に見て今後の課題として考えられる点は、試合経過が示す通り各試合ともに前半は接戦の展開にあるものの、試合後半になると疲労からくるものか、思考力の低下や集中力の欠如などによる状況判断の的確さを欠くケースが多々あることは、ゲームスタミナに問題があるものと考えられる。そしてさらに、食生活や環境の変化に伴う精神面での調整能力に劣る選手が少なくなく、経験もさることながら、このような点についても今後十分注意し、トレーニングとともに指導していく必要を痛感致しました。

高木 俊明

◎自分に対する感想

高校時代は、筋力がなくてもからだにボールが当たればゴールか

チュンチェンカップ派遣メンバー

〈男子〉

監督	早川清孝	1946. 7.17	京都芸術大学		
審判	井上真也	1943. 8.22	東百舌島高校		
選手	氏名	生年月日	身長	体重	所属
G.K	1 多田 恵久	1967. 6.18	185cm	67kg	湧永製薬
	12 高木 俊明	1968.12.17	187	73	明石北高校
F.P	2 鹿嶋 俊秀	1968.11. 3	188	79	大阪商業高校
	3 坂口 俊幸	1966. 6.27	188	76	トヨタ自動車
	4 松尾 和明	1967.11.11	187	83	トヨタ自動車
	5 大和田 和利	1966. 8.13	180	70	大崎電気工業
	6 大野 達哉	1967. 1.14	179	69	大崎電気工業
	7 小池 暢男	1967.12.25	185	77	本田技研鈴鹿
	8 松村 宏和	1966. 5.12	181	72	本田技研熊本
	9 田中 幸介	1967. 7.11	180	72	本田技研熊本
	11 田中 英規	1968.11.11	184	72	此花学院高校
	13 植木 寿憲	1967. 9.25	183	81	大同特殊鋼業
	14 相馬 栄司	1967. 2.26	182	75	大崎電気工業

〈女子〉

監督	清水正	1942. 1. 1	日本協会常務理事		
コーチ	藤原 侑介	1948. 2.28	日本体育大学		
コーチ	梶岡 俊和	1942. 7.11	ジャスコ		
審判	井手 洋治	1941.10.30	熊本女子商業高校		
	島崎 政		桜塚高校		
選手	氏名	生年月日	身長	体重	所属
G.K	梅津 直美	1967. 3. 1	169	59	日立栃木
	三浦 葉子	1968. 1.13	174	65	ブラザー工業
	村山 みどり	1969. 1. 9	176	65	東京女子体育大
F.P	大林 恵子	1967. 1. 1	158	54	東京重機工業
	武津 優子	1967. 9.19	172	59	立石電機
	中山 美和子	1967. 4.12	158	56	立石電機
	小池 美由紀	1967.11. 7	164	61	大和銀行
	新田 千里	1967. 7. 3	167	68	日本体育大学
	市来 未央	1968. 1. 3	159	63	日本体育大学
	白鳥 貴子	1967.11.13	168	68	筑波大
	貞本 三奈子	1968.11.17	161	56	大和銀行
	稲田 知鶴	1969. 1.20	173	58	ジャスコ
	斉藤 八千代	1969. 2.11	170	56	立石電機
	山之内 理代	1969. 2.26	176	64	ビクタ
	篠原 由美	1969. 1.31	158	51	武庫川女子大

ら外れていましたけれど、ジュニアクラスとなるとからだにボールが当たってもゴールインしてしまっています。だから、自分のチームに帰ってすることは体力づくりです。それと、スウェーデンのG.Kの試合運びのうまさには驚きました。自分も見習いたいです。

台湾、韓国は、日本のシュートフォームやシュートタイミングとよく似ていますが、ヨーロッパのシュートタイミングは全く異なつたものであつたことに驚きました。これから先、こういう機会があればまた勉強したいです。

◎チームとしての感想

自分はキーパーだからフィールドの事はよくわかりませんが、一つだけ言っておきたいことがあります。

それはロングシュートを打たれた時どのコースをつぶせばいいか頭ではわかってはいるけれども、いざシュートを打たれるとそのあたりのディフェンスがいっせいに手を上げる。たしかにシュートブロックする確率は高いけれども、できなかつたらブライインドになつて非常に止めににくいです。もつと6対6の練習をして習慣づけにし

たらしいと思いました。それと、海外のチームと試合した経験が少ないのはしきたないけれど、日本でもっと合宿して息を合わせて練習試合をしたらいいと思います。

植木 寿憲

◎自分に対する感想

今回、台湾でのチュンチェンカップには一度しか出ていないのですが、やはり一番感じた事は、何よりもケガがないという事を感じました。やはり、観客席から見

◎チームに対する感想

今回、台湾での大会は実業団のいてとても悔やしい場面が多かったです。その時いつも感じる事は、もし自分の右足が良ければチームのみんなとコートの中で一緒にプレーができるのになど毎日感じてました。まあ自分は自分なりに試合を見ていたので、外国のプレーなど良く頭に残っているの、日本に帰って練習で1から10までできるようになつたら、外人のプレーを思い出しながら練習をやつて行きたいと思えます。

今回、台湾での大会は実業団の

日本が生んだ世界のボール

日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)



タチカラニムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。

TACHIKARA

タチカラ株式会社

選手が主体だったのですが、やはり学生とは違い、体力、パワーはある程度あったと思います。しかし、第1戦からスウェーデンとあたりメチャメチャにやられて、チームは落ちこんで行ったと思います。でも、前半悪かったけど後半は良かったというゲームが2、3試合程あったのですが、やはりチームのみんなは苦しい時に我慢できなかったで、自分に負けたのではないかと自分は思います。

大和田和利

◎自分に対しての感想

今回、初めて全日本ジュニアの一員としてチュンチエンカップに参加でき、本当に良かったと思っています。全日本ジュニアの一員であるとともに、自分自身の力をためすチャンスだと思ったからです。しかし、自分で考えているハンドボールがまだまだレベルの低いものであることを、各チームと試合をするたびに感じました。

それは、スピード、パワー、テクニック、あらゆる面で自分自身より優れていると感じたことです。自分の考えているハンドボールをもっと大きく、そしてレベルの高いものにしていかなければならないと感じました。

そのためには、日本に帰ってからの自分自身の練習への取り組み

方だと思っています。今大会での各チームの長所を自分のものにし、自分の短所をなくすように努力したいと思います。また、各試合において自分の納得のできるプレーができなかったのは、精神的に弱かったからだと思います。そのような面においても、まだまだ勉強しなければならぬと思いました。

◎チームとしての感想

今回、チュンチエンカップに出場するため本田技研での合宿、大阪ガスでの直前合宿を行ない、大会に出場したわけですが、自分自身チームワークは良かったと思っています。しかし、大切なところですべての人が「自分がやらねば」という気持ちが先に立ち、空回りしていた部分が多かったと思います。

たとえば、普通ではミスしない場面でパスミス、キャッチミス、シュートミスが出たり、大事なところで声がなくなったりした部分で、自分をはじめほんとうに多かったです。

各試合を思い出してみると、勝つことができた試合が2試合程あつたと思います。オランダ戦の1点差、韓国、台湾と前半いい試合をしながら後半に入って声が出なくなり、チームの状態が悪く負けてしまう展開になった試合がこの二試合だと思います。

そのような面が今回のチームの

欠点のような気がしました。やはり優勝したスウェーデンは、大切なプレーをしていたのではないかと思います。全日本ジュニア（自分自身）もこのような良い点を見習いがんばっていかねばならないと思います。

松尾 和明

◎自分に対しての感想

今回の海外試合で、多くの自分の不足している面がわかりました。また、自分はこのチームで何をやれば良いのか、もっと自分の役割を考えなければいけなかったのは、と思いました。自分は試合の中で点数を入れることだけに必死で、チームのつながり、また、相手を生かすプレーがまるでできていませんでした。

自分は、この事を言われるまで自分勝手なプレーをやり、チームに迷惑をかけていました。これからもっとチームの中に自分ということを良く考えたいと思います。これから日本に帰ってこの遠征で多くの学んだことを生かし、また、自分を磨きたいと思います。

◎チームとしての感想

今回の大会に参加して、海外のチームと試合を行なった時に、日

本のチームはまだまだだなどという感じがしました。

まずオフェンス面では、ボールまわしがすばらしく、また、体をはってのシュート、試合の組み立てのうまさを感じました。これに比べ日本のプレーはまだまだで、シュートまでいかないうちに自分たちでミスをしてしまい、どんどん落ちこんでいくケースが多く、試合の前半は何とかヨーロッパのチームにでもついて行っているのに、後半にやられてしまう。それも後半の後半、終わる寸前に多くの点数を許してしまうケースが多く、海外のチームに比べたら体力不足なのではと思いました。また、もっと多くの合宿を行ない、チームの強化を行なえば、ヨーロッパのチームにも勝っていたのではないかと思います。

梅津 直美

4月13日から17日に行なわれた中正杯に参加し、今まで経験しなかった事を経験して、沢山の事を勉強して来ました。

今回の大会には、韓国をはじめとし、西ドイツ、デンマーク、台湾、日本の5チームが参加し熱戦をくり広げました。

私たちは、この中正杯の最大の目的として5月に行なわれる、ジュニア世界選手権予選で対戦する台湾チームとの試合で、是非とも

勝ち星を挙げたいという目標をもち出発しました。

しかし、私たちのチームは、昨年のメンバーとのいれかわりがあり、新チームでの遠征となりました。その為、海外遠征、国際試合など初めて経験するという選手もいて、それを短かい合宿の期間でコンビを組み、外人の高さとパワーに対するディフェンスを中心にしたチーム作りをしたのですが、まだまだ多くの課題を残したままの状態での出発でした。

今大会の最大の目的であった台湾との試合は、前半から「どうしても負けられない。」という気持ちと、見るよりも実際のプレーにスピードがあり、自分たちのペースがつかめないまま試合がすすみ、後半に入って点差が縮まり、あせりが出はじめ、全員の視野が狭くなり、ミスの連続で相手に得点され苦しい試合となって、残り1分ほどで逆転をし1点差で勝つ事ができました。

全試合を通して感じた事は、個人技が出しきれなかった事、外国人そして勝たなくてはいけないというプレッシャーがかかってしまった事など経験の浅さが出てしまっている。自分たちのミスから得点されるケースがとて多く、楽な試合をとて苦しくしてしまったり、あと一歩という試合を落としてしまったという試合を落としてしま

この遠征での反省を次ぎの試合

どこまで直す事ができるか、また、精神的、体力的にも一人一人がもつと強くなる事が私たちのこからの課題だと思えます。

大会を通して、最終日には各国の交流をはかるためのレセプションが行なわれ、とても楽しい時間を取る事ができました。

地元の人々とも、言葉が通じなくても身振り手振りで会話をするという貴重な経験もでき、ハンドボールの試合を通して技術以外の勉強もする事ができました。

この経験を大きなステップとして、これからの試合でチームが一つになって頑張っていきたいと思えます。

小池美由紀

4試合を通じて感じたことは、もつともつとディフェンスを強化しないといけないということです。日本人は外国勢に比べると小さいということでも今回も前へつめるDFDをしたんですが、つめるタイミングが悪く、ロングを打たれたり、フェイントで抜かれたり、ポストへパスを通されたりということが何度かありました。ロングやフェイントに対しては、一対一の練習をすればある程度守れるようになると思うんですが、ポストへのパスとなると隣り同士のコンビのことなので、これはお互いがしっかりと声をかけ合うことが大切だと思

います。ディフェンスにおいては、隣り同士の声を、前後左右のフットワークを身につける必要があります。また、次に、オフエンス面では、ステップシュートと、ジャンプフェイントが通用した事が自分にとっては収穫でした。自分の場合、身長もそれほど高いわけではないので、へたに上から狙うより、ディフェンスの間から狙った方が確実だと思いました。

これは逆に、これからの課題は、ボールをもらう前の動きと、視野を広げることです。いつもボールをもらってから動くこととするので、もらう前に敵・味方の位置を確認できて動けるよう努力していきたいと思えます。

それから、絶対に凡ミスは禁物だと思えました。もうこれは当然わかっていることですが、ゼロたない試合など一つのミスが致命傷になりかねないので、ミスは最小限にとどめるべきだと思います。また、ミスによつても次につながるものと、後々尾を引くものがあると思います。後者のようなミスをしてチームの雰囲気が悪くならないようにしたいものです。ミスをしても、それがどんどん続くのではなく、そこでくい止められるようなチーム全体で盛り上げられるようになればいいと思えます。

最後に、今回はコンビを組む時間が少なかったせいかな、なかなか一つになれず、ミスも多かったんですが、次にする時は今回よりましになるようにしたいと思えます。初めての海外遠征で学びとったいろいろなことを、これからのことに役立てて、少しずつでも成長できるように努力していきたいと思っています。

貞本三奈子

今回の遠征前の合宿は、試合が後に控えているということで、緊張した様子がみられた。しかし、最初から人数がそろわないうままで始まったので少々不安もあったが、練習は着々と進んでいった。

合宿場所が大和ということで、すぐ戸惑った。大和に来て2週間したたつておらず、何も分からなかったからだ。結局、何もできなかったけれど……。

途中、大体大と武庫川に行った。しかし、その時は、胃痛の為練習ができなかった。自分の健康管理ができてないと思うと、すごく情けなく、みんなが練習や試合などしているのを見ると、悔やしい思いをしたのを覚えているので、これからは、絶対そうということがないように心がけたい。

遠征前の合宿で、もう少しコンビの練習ができたらよかったと思う。そうすれば、試合中でも、もっと生かされたと思う。今回の遠征は、自分自身初めての

の海外遠征で、正直にいうと初めての日本脱出だったので、緊張と不安と期待が入り混じっていたといつてもウソではないと思う。

一番の思い出はというと、試合といたるところで、あまり自分の力をだせずに終ったので、これは二番か三番目にしよう。一番目はというと、それは、四日目ぐらいにホテルであったレセプションだ。話を聞いても、何を言っているのかわからないので、初めは楽しくなかったけれど、各国の出し物は、すごい盛り上がりだった。

印象に残ったのは台湾の人たちが、日本の歌(むこうの言葉で)を歌ってくれたこと、ヨーロッパの人たちが、みんなが参加できるようなことをしてくれたことだ。自分たちは、全員で「幸せなら手をたたこう」を振り付きで歌い、1年生だけで、「CHA-CHA-CHA」をおどった。1日前ぐらいから、暇をみつけては練習したのがよかったのか、思わずアンコールがかかったのは驚いた。今回の遠征で得たものといえば、もう全部。フェイントにしてもパス一つにしても攻守ともであった。ちょっと見方をかえたハンドを見る事ができたことがよかった。次の合宿までには、大和で体力・筋力アップして、自分のプレーができるようがんばりたい。

実績と信頼の公式試合球

イリマボール



ALL OVER THE WORLD

IRUMA

ハンドボール



日本ハンドボール協会検定球 HL-3, HL-2

入間川ゴム株式会社

東京・埼玉・大阪・名古屋

香港国際大会報告

日本男子が初優勝を飾る

日程 4月17日～19日
場所 香港ビクトリア公園内ハン
ドボールコート

参加国

〈男子〉中国、オースト
ラリア、ネパール、韓国、
香港、日本の6カ国。
〈女子〉韓国、中国、香
港の3カ国。

〈成績〉

▼4月17日
日 本 23 (1013 | 7) 15 韓 国
▼4月18日
日 本 38 (1919 | 2) 4 香 港

香港国際大会に参加して

監督・野田 清

本大会は、従来ジュニアナショナルチームを中心に開催されてきたものであるが、本年度からIH Fカレンダーにも載せ、名実共に国際大会にしたいという香港ハンドボール協会の強い要請により、初めてナショナルチームがソウル・オリンピック予選の強化も兼ねて参加することになったものである。

▼4月19日
日 本 29 (1316 | 111) 21 中 国

〔順位〕①日本②中国③韓国
〔女子順位〕①韓国②中国③香港
※はじめこの大会は各国ナショナルチームが参加する予定であったが、実際は韓国は大学単独チーム(ただし韓国ナショナルプレイヤーが1人)、中国は地区の選抜、香港、ネパール、オーストラリアはナショナルという状況であった。

女子においても、韓国は製薬会社のチーム、中国は北京選抜、香港はナショナルチームであった。

この大会の参加国は、日本、中国、韓国、オーストラリア、ネパール、香港の6カ国であり、A Bブロックの予選リーグとブロック別順位決定戦方式により争われることになった。日本は、Bブロックで、韓国、香港と対戦したが、連勝して、Bブロック1位となり、Aブロック1位の中国と優勝をかけて対戦し、29-21で勝ち、本大会初優勝を飾った。

守り抜けたこと、選手が勝つためのリズムを学んだこと、ゴールキパーの矢内選手が最優秀選手に選ばれたことなど、多くの成果をあげることができたので、8月下旬のソウル・オリンピック予選にこの経験を生かして行きたいと思う。

5年間にわたりこの国際大会を運営している香港ハンドボール協会は、限られた予算の中で、宿舍、選手・役員の移動用バスの手配、大会運営、毎日のテレビ・マスコミの活用等、あらゆる面に気を使い、大会がスムーズに運営されるよう気配りし、見事大会を運営している点に本当に頭が下がる思いであり、感謝の意を表し、報告と致します。

香港国際に参加して

西山 清

この香港国際は、当初の予定では中国ナショナルチーム、韓国ナショナルチームが参加することになっていましたが、中国チームも韓国チームもナショナルチームが参加せず、それぞれの国の単独チームが参加し、我々日本チームと

しては多少誤算の点がありました。中国についても、韓国についてもそれぞれ国らしさを十分もったチームでした。特に中国チームは、高い位置、高い打点からのロングシュート、そしてパスモーションなどからの強引なカットイン攻撃といった長所もさることながら、速攻に対しての戻りの悪さについても、中国チームらしさを十分もったチームであり、対中国戦ソウル・オリンピック予選に向けて大変良い体験だったと思います。

この大会を通じて多くの成果を得ることができました。もちろんこの成果の中には、予選までに、どうしても解決しないといけない多くの課題も多くなりました。その1つが、中国チームの大特徴である、高い打点からのシュートや強引なカットインが、この大会の中国チームの得点の中心であった事は、大変大きな課題といえます。特に強引なカットインプレーは中国チームだけでなくクウェートのように体のあるチームと対戦する時の、最も大きな日本チームの欠点といえます。こうした課題のつぶしを行なわないと、DFでムードをつくることが多い日本チームとしては、ソウル予選に勝つ為の重大な事項だと思います。

今後は、こうした課題のつぶしも大切ですが、良い試合をした時のムードも忘れずに、約3ヶ月半

頑張っていかなければならない。
オーストラリアについて
立木浩二

香港国際大会には、韓国、中国、ネパール、オーストラリア、香港、日本の6カ国が参加して行なわれた。その中の一つ、オーストラリア。私はハンドボールで、オーストラリアの名を聞くのは初めてであった。毎年、学生選抜で出場するニューカレドニアでの国際大会で、かつて対戦し、10点差ほども開けられ負けたという話を聞いた。どのようなチームか、どんなプレーをするのか、大変興味があるのと同時に、対戦の有無にかかわらず手強そうな気がした。オーストラリアの平均身長は183cm、平均体重81kg、数字で見ると我々と変わらないのだが、実際見ると幅もあり、上半身の体格、筋力は秀れている。

監督はユーゴスラビア人で、我々が世話になったスノイ氏が指揮していた頃の選手だったらしい。それだけオーストラリアもハンドボールに力を入れているのである。

オフエンス面では、やはり体格、体力パワーを生かしたプレーが多く、ディフェンスの間を割り込んできて得点する。ポストとのちよつとした連携、倒れ込み方など、意外と練習はしてるなあと目を見張る点もあった。特にNo.8は、ユ

男子ナショナル香港大会出場者

団長	川上正幸				
監督	野田清	1946. 4. 5	大同特殊鋼	製薬	鹿嶋
コーチ	津川昭	1951. 8. 3	湧永製薬	研鑽	鹿嶋
コーチ	佐藤要二	1949.10.16	本田技研	製鋼	大学
コーチ	塙敏	1950. 8. 18	中京女子	製鋼	大学
審判	中本成基	1945.08.19	広高等学	校	

選手	氏名	生年月日	身長	体重	所属
G.K 1	井藤英忠	1959. 3.10	185cm	83kg	湧永製薬
々 12	上村幸彦	1959. 2.27	178	78	大同特殊鋼
々 16	矢内浩	1960. 8. 1	189	85	大崎電気工業
々	橋本行弘	1965. 9.17	185	80	本田技研製鋼
F.P 2	西山清	1959. 4. 8	182	78	日新製鋼
々 4	玉村健次	1961. 1.16	182	77	湧永製薬
々 5	荷川取義浩	1961.12. 4	185	90	湧永製薬
々 6	首藤信一	1965. 1.10	186	85	大崎電気工業
々 7	酒巻清治	1962. 5. 7	180	78	湧永製薬
々 8	高村誠一	1960.12.11	187	80	大同特殊鋼
々 9	立木浩二	1960. 4.28	184	76	本田技研製鋼
々 10	田口隆	1961. 7.23	182	78	本田技研製鋼
々 11	宮下和広	1961. 8.31	187	85	大崎電気工業
々 13	奥田新治	1959. 6.11	184	72	湧永製薬
々 15	藤井泉	1959. 6.26	181	74	日新製鋼
々 17	山村敏之	1964. 7. 9	177	70	本田技研製鋼

1ゴからの助っ人か否かは不明だが、2次速攻でも上手く間を制り得点を挙げていた。しかし、全体としての組織だったブレイ・コンビも特になく、ブレイ自体は雑であつたように思う。

ディフェンス面では、0...6で、縦への詰めはほとんどなく。韓国の素早いフェイントについて行けてなかつた。

今はさほど注意するチームでもないだろう。けれど、ユーゴからの監督・選手の派遣などからみても、今後より一層強化を計るだろう。我々の苦手とする体格・パワーを持ち備えているだけに、理論

ネパールについて

矢内 浩

・技・コンビ的な組織ブレイを身に付けてくるとなると、今後、我々の強敵となるのは間違いないだろう。

ネパールチームについて書くとしたら、速攻型のチームである。ロングシュートを打つ選手が少ない(平均身長が170cmぐらいの為)、全員が動いて数少ないチャンスを生かして得点をあげていたと思います。

実力的には、日本の中学生のチームレベルではなかつたかと思ひます。

日本もネパールの良い面を見て自分たちのなくなっているハンドボールに対する純な気持を今後大

ます。パス、キャッチなどの基本的なものがまだ自分たちのものになつてなく、3ゲームを見ても、自分たちのミスから相手に速攻で得点されていた。しかし、レベルは低い選手一人一人のハンドボールに対する気持が良かったと思ひます。

今後、ネパールのハンドボールが実力的に向上するとしたら、今回の選手の中で指導する人が、多く出れば、もっと強いチームができて行くと思ひます。

香港の印象

山村 敏之

切にして行きたいと思つてい

私は、出発前、日本が寒かつたのに対し、香港は到着した時25度近くあるのに驚き、その影響で試合中は真夏を思わせ、みんな日焼けして帰国することになりました。

香港の街はゴミなどが散らばっているし、車は多いし、建物は汚いし、あまり美しい国ではありませんでした。それと、街の中にある公共の公園のサッカーコート、ハンドボールコート、バスケットボールコートなどは、コンクリートでできていて、今会の試合会場もコンクリートのコートを使用したので、ふだん体育館の板の上でハンドボールをしている私たちにとって、あまり気の乗らないコートでありました。

金銭の単位はホンコンドルで、1ホンコンドルは約20円で計算でき、500ホンコンドルは1万円があれば適当なお土産が十分に買うことができ、スポーツシャツなども、なかなか安く手に入れることができました。

短い期間で、色々な事がありました。私が、私は香港よりやはり日本が好きです。



創業69年

中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村 昭光

本社 〒108 東京都港区芝浦 2-3-39

電話 東京 (03) 451-4161(代)

各地の記録から...

東海

第68回愛知県実業団リーグ戦

(1月14日、2月21日、名古屋市体育館)

大同特殊鋼	46	日本電装
トヨタ車体	29	豊田織機
大同特殊鋼	31	新日鉄名古屋
トヨタ自動車	24	豊田織機
大同特殊鋼	33	トヨタ車体
トヨタ車体	17	日本電装
豊田織機	27	新日鉄名古屋
トヨタ車体	21	新日鉄名古屋
トヨタ自動車	28	日本電装
大同特殊鋼	30	豊田織機
トヨタ自動車	32	新日鉄名古屋
日本電装	31	新日鉄名古屋
豊田織機	33	日本電装
トヨタ自動車	23	トヨタ車体
トヨタ自動車	20	大同特殊鋼
(順位) ①トヨタ自動車②大同特殊鋼③トヨタ車体④豊田織機⑤日本電装⑥新日鉄名古屋		

近畿

第29回知事杯京都府選抜選手権

(2月11、22、3月1日、京都府立体育館ほか)

豊田合成	25	ブラザー工業
豊田織機	27	パイロット
豊田合成	12	パイロット
アイシン精機	29	アイシン精機
豊田合成	18	豊田織機
日本碍子	32	パイロット
アイシン精機	30	ブラザー工業
豊田織機	28	日本碍子
豊田工場	23	日本碍子
(順位) ①豊田合成②豊田工場③日本碍子④ブラザー工業⑤パイロット⑥アイシン精機		

九州

全国高校選抜鹿兒島県二次予選

京都教員A	6	10	京都教員B
京都教員B	11	5	
京都教大	16	13	京都女高
高校ジュニア	13	8	西宇治高
2回戦	8	4	京都教大
古都ク	20	8	高校選抜
東宇治高	15	8	京都女高C
向陽高	32	6	高校ジュニア
ファイヤーン	14	13	東宇治高
準決勝	25	15	向陽高
古都ク	7	5	古都ク
ファイヤーン	16	2	甲陵高
チャーク	33	10	加治木工
予選リーグ	42	2	甲陵高
鹿兒島工	36	10	甲陵高
加治木工	33	14	加治木工
鹿兒島工	25	19	単人工
〇Bパート	24	17	国分
鹿兒島中央	29	28	国分
単人工	37	13	鹿兒島商
〇Cパート	26	15	鹿兒島商
大島	38	18	鹿兒島南
大島	27	18	鹿兒島南
決勝リーグ	25	13	鹿兒島中央
大島	18	13	鹿兒島中央

第25回大分県総合選手権

(1月4、5日、大分電波高、鶴崎工高)

大分電波高	26	15	大島
大分電波高	32	17	大分電波高
大分電波高	22	12	大分電波高
大分電波高	26	12	大分電波高
大分電波高	22	16	大分電波高
大分電波高	33	7	大分電波高
大分電波高	34	7	大分電波高
大分電波高	33	5	大分電波高
大分電波高	31	17	大分電波高
大分電波高	34	7	大分電波高
大分電波高	18	13	大分電波高
大分電波高	28	5	大分電波高
大分電波高	26	22	大分電波高

〈中学男子〉

鶴崎中 37-25 明野中
 県立聾 19-15 鶴崎中
 県立聾 16-13 明野中
 (順位) ①県立聾学校②鶴崎中③明野中

〈中学女子〉

大東中A 15-3 鶴崎中B
 原川中 23-5 大東中C
 鶴崎中A 23-9 大東中B
 大東中A 15-3 鶴崎中B

〈一般男子〉

大分電波高 29-15 大分電波高
 大分電波高 32-17 大分電波高
 大分電波高 22-12 大分電波高
 大分電波高 26-12 大分電波高
 大分電波高 22-16 大分電波高
 大分電波高 33-7 大分電波高
 大分電波高 34-7 大分電波高
 大分電波高 33-5 大分電波高
 大分電波高 31-17 大分電波高
 大分電波高 34-7 大分電波高
 大分電波高 18-13 大分電波高
 大分電波高 28-5 大分電波高
 大分電波高 26-22 大分電波高

〈一般女子〉

大分電波高 14-18 大分電波高
 大分電波高 19-15 大分電波高
 大分電波高 22-15 大分電波高
 大分電波高 32-4 大分電波高
 大分電波高 21-10 大分電波高
 大分電波高 21-13 大分電波高
 大分電波高 35-5 大分電波高
 大分電波高 16-11 大分電波高
 大分電波高 35-5 大分電波高
 大分電波高 16-11 大分電波高
 大分電波高 35-5 大分電波高
 大分電波高 16-11 大分電波高
 大分電波高 35-5 大分電波高
 大分電波高 16-11 大分電波高

〈決勝〉

明野中 18-9 大東中A
 大東中A 29-8 原川中
 明野中 15-3 鶴崎中A
 大東中A 29-8 原川中

molten®



MTH3 標準ボール
●天然皮革 ●検定球 ●重量265g

瞬間、
信頼の手がかり!

独自の32面体
ノンスリップ構造で
ダイナミックプレーを演出する

モルテンハンドボール

独特のリブ形状とパネル間段差の“32面体ノンスリップ構造”で確かな手がかりを生み出すとともに、ナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現したモルテンハンドボールは、日本ではじめて国際ハンドボール連盟 (I.H.F.) 公認を獲得。ハンドボールの圧倒的な人気と信頼を集めています。

●日本ハンドボール協会検定球 (JHA) ●国際ハンドボール連盟公認球 (I.H.F.)



株式会社 モルテン
東京本社 東京都豊田区豊田 5-5-2 電話 (03) 425-1751
東京 大阪 広島 名古屋 福岡 札幌 ロサンゼルス シカゴ ボストン

800m²の青春

ねばり強いディフェンス、そして鋭いシュート! 800m²のコートにとび散る汗。ハンドボールは、頭脳と技の闘いだ。空間に舞う身体、全身がひとつになりVへのゴールにボールが躍る。ミカサのハンドボールは、優れた弾力性と強度、そして手に吸いつくような感触で全世界のプレーヤーから絶賛を浴びています。勝利を目指す人の、ミカサのハンドボール。

新製品

小学生用軽量ハンドボール



重量265g
検定球
¥3,300



MGH3

★
MIKASA®

本社/〒733 広島市西区楠木町3丁目1-2 電話(082)237-5145(代)
営業所/東京・大阪・名古屋・広島・福岡

東洋証券ハンドボール・ ジャパンカップ '87

第6回女子ジュニア世界選手権大会・アジア予選

※印 親善試合

	会場	開始時刻	対戦(男子)	開始時間	対戦(女子)
5/30(土)	国立代々木競技場 第一体育館	18:30	ユーゴ VS 西ドイツ	15:30 17:00	全日本 VS ソ連 韓国 VS アメリカ
5/31(日)	"	14:00	全日本 VS ユーゴ	10:40 12:20 15:30	全日本J VS ^{チャイニーズ} タイペイ 全日本 VS アメリカ ソ連 VS 韓国
6/1(月)					
6/2(火)	"	19:30	全日本 VS 西ドイツ	14:50 16:30 18:00	^{チャイニーズ} タイペイ VS 全日本J ソ連 VS アメリカ 全日本 VS 韓国
6/3(水)	横浜文化体育館	19:10	全日本 VS ユーゴ	17:40	※ソ連 VS 日本ビクター
6/4(木)	山梨県営小瀬体育館			18:30	※アメリカ VS シャトレーゼ
6/5(金)	大阪市中央体育館	18:30	西ドイツ VS ユーゴ		
6/6(土)	名古屋市体育館	18:00	全日本 VS 西ドイツ		

参加国

男子	女子
ユーゴスラビア (ロスオリンピック金)	ソビエト ('86世界選手権金)
西ドイツ (ロスオリンピック銀)	韓国 (ロスオリンピック銀)
日本 (全日本男子)	アメリカ (ロスオリンピック5位)
	日本 (全日本女子)

会場所在地

- ・国立代々木競技場 東京都渋谷区神南2-1-1 (03-468-1171)
第1体育館
- ・横浜文化体育館 横浜市中区不老町2-7 (045-641-5741)
- ・山梨県営小瀬体育館 甲府市小瀬町840 (0552-41-2361)
- ・大阪市中央体育館 大阪市東区法田坂町6 (06-941-5096)
- ・名古屋市体育館 名古屋市熱田区六野2-2-3 (052-872-6655)

New & Next
brother



My Story

ブラザー工業株式会社

昨日見た夢、残しておきたいね。

昨日見たのはハッキリと覚えてる。
ハートがボカボカとあつたくなる
ような夢だった。それをソーイング
して布に残した。とてもかわいく仕
上がった、布絵本。
創イングMY STORY。



COMPAL-OXII



高度なスカイプレーが变幻自在。

スカイハンド_ススペシャル (TTH705)

- カラー ホワイト×レッド×レッド×ホワイト×ロイヤルブルー×ホワイト
- サイズ 22.5-28.0cm
- アッパー ステア表革(ホワイト×レッド)
牛革ペロア(レッド×ホワイト、ロイヤルブルー×ホワイト)

標準小売価格 ¥13,000



ストップ&ジャンプ性能を徹底追求したシューズ、スカイハンド_ススペシャル。つま先からかかとまで衝撃吸収性に富む超軽量スポンジE.V.A.を内蔵したカッパソールが、素晴らしい軽さ、ソフトな着地感、ストップ性を獲得しました。アクロバティックなスカイプレーを繰り広げながら、ヒッチコックの鳥のような圧倒的迫力でゴールを襲うハンドボールに捧げます。

飛べ!

スポーツが好き。汗が好き。

笑顔があります。涙があります。
躍動があります。記録への挑戦があります。
チームプレイの和があります。
からだを動かしていると
人生の大切なものがたくさん見えてきます。
新日鉄は、スポーツを通し
心身を鍛える皆様に声援をおくります。

 **新日本製鐵**



(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第二六二号

昭和四十年六月
第三種郵便物認可

昭和六十二年四月二十五日 印刷
昭和六十二年五月一日 発行

東京都渋谷区
電話代表 (03) 二二二六六一
振替 東京 六一五八三四八番
編集兼 大野金一
発行人

定価三百五十拾円
(年間購読料
三千三百円)